



川内小学校だより

ゆずり葉

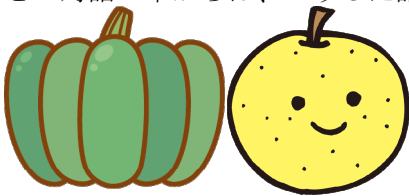
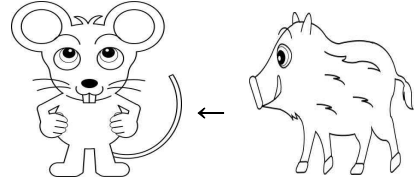
第13号

令和元年12月11日
桐生市立川内小学校発行



今年も間もなく「冬至」、令和元年もあとわずか…

イノシシの1年があつという間に過ぎ去ろうとしています。あと十日もすれば「冬至」です。ご家庭ではカボチャをいただいたり、柚子のお湯につかったりされることでしょうか。子どもたちとの対話の中からは、こうした話題がたくさん出てきます。児童の各家庭や川内にお住まいの方々の中



には、日本ならではの風習や季節感を楽しむご家庭が多いように感じています。学校においても季節を感じたり生かしたりしながらの学習や活動をたくさん取り入れています。

11/10の朝の音楽集会では、5年生の児童が『冬景色』の歌を披露してくれました。まさに今の季節を感じさせてくれる歌と歌声でした。全校合唱ではみんなで『ふるさと』を歌いました。これは冬の季節だけに限った歌ではありませんが、落ち着いた雰囲気が出てとても心地のよい歌声が響き渡りました。

学校の給食献立表もよく見ていただくと、時折、季節の材料を取り入れたり、季節感が表れているメニューだったりと工夫されていることがご理解いただけると思います。心に余裕をもちながら、こうしたところに目を向け、日本のよさについて改めて楽しみたいものですね。



<5年生による『冬景色』>

さて、今年度の4月は平成31年度としてスタートしましたが、5月からは令和元年度と新たな名称となりました。川内小としては、川南小と川北小の統合からちょうど10年目となる節目を迎える年にもなりました。

一方、世の中はこの数年で大きく変化してきましたが、各ご家庭ではこうした動きをどのように感じているのでしょうか。パソコンやスマホの普及で子どもたちを取り巻く環境が便利になるとともに、反面、大きな心配を招く状況にもなってきています。SNSで他人とつながった子どもが事件や犯罪の被害にあったという事案は日々起こっています。さらに申せば、テレビや新聞で報道されるのは冰山の中のほんの一角です。みなさんにも想像はつくでしょうが、多くの場合は被害者・加害者のご家族から「子どもや家族の今後を考えて、話題を公表しない・外に一切出ないように配慮を」との訴えで、おもてに出てこないことがほとんどです。こうしたことから、様々な被害事案・加害事案は人ごとではなく、どの学校のどの子どもにも起こる可能性があるということを十分理解しておく必要があります。

【学校評価の結果からも一】

パソコン、スマホ、通信ゲームなどに関して言えば、多くの子どもが自己管理をしっかりとできず、よくないことだと分かりながらつい何時間も画面に釘付けとなり、ズルズルと深みにはまっていく傾向が見られます。川内小の学校評価アンケートからは、児童の20%以上が1日2時間以上もの時間をゲームやSNSに費やしているという結果が出ています。保護者の皆様におかれましては、帰宅後や休日（もうすぐ冬休みに入ることもあるので）の子どもたちの生活状況に目を向けながら、約束ごとを決めたり指導したりして、お子さんの生活が日々、充実したものとなるようご配慮をお願いします。

インフルエンザにご用心！

11月に入った頃、他県でインフルエンザ発症のニュースを耳にし、その後、群馬県内でもちらほらと罹患者が出てきたとの情報が入ってきました。川内はまだ大丈夫かなーと心配しつつ、インフルエンザ予防について、働きかけの強化を考えていたところ、師走にまたがるあたりから、6年生にインフルエンザ発症児童が出始めました。



先週から今週にかけて6年生に罹患者がじわりじわりと出てきている状況です。罹患した児童の中には高熱が出た子もいれば、中には予防接種を受けていたので、それほどひどくならず軽く済んだとの報告もいただいています。

そして幸いなことに、今のところ1～5年生の子どもたちは、ほぼ元気に過ごすことができている状況です。なお、各学級では、うがいと手洗いの励行に努めていますが、帰宅後の児童の過ごし方については、各ご家庭で十分ご留意いただきながら、予防に努めてほしいと思います。

過去に、ある学校区では、育成会のカルタ練習会がきっかけで一気に広がってしまったということがありました。ご存じのようにカルタは、室内でおでこがぶつかるくらい接近しながらやりとりします。その地域ではその反省を踏まえ、次の年からはカルタ練習への参加は、体調が万全であり、なおかつ全員がマスク着用を徹底して行うようにしたようです。

カルタでなくても、人がひっきりなしに出入りする場所や人混みは避けたいところです。様々な施設内において咳き込んでいる人が近くにいると、何となく心配になってしまいますね。やむを得ず外出をする場合でも、できるだけ人混みをさけるとともに、帰宅時には念入りの手洗いとうがいを心がけるようにお願いします。



【校長室でのひとりごとー「光陰矢の如し」】

この時期、床屋に行くとき必ず話題になるのは「1年なんてあっという間ですね。」というもの。毎年、同じことを感じつつ、月日の流れに加速が付いてくるような気がする。記憶に残っている中で、たつぷりと長く感じたのは小学校の6年間。今ではその頃の思い出は貴重なもの。高校、大学の頃、そして教員になっての1、2校目もそんなに時間の流れは早く感じなかった。ところが、そこから先の加速度の付いた時間の流れは恐ろしい。何とか緩やかなものにしていかなければならない。何か新しいことに取り組みなければ…。